



社会福祉法人 すこやか福祉会
株式会社 ファミリーケア
2013年1月1日 第24号
＜4月・7月・10月・1月 年4回発行＞

謹賀
新年



皆々様におかれましては心新たな気持ちで新年を迎えられたことと存じます。

東日本大震災から2度目のお正月を迎えました。まだ仮設住宅での暮らしを続けている方々、放射線の高い地域から逃れて避難生活を続けている人々を思うと、胸が痛みます。一日でも早い復興をめざし、すべての国民が安心して生活ができるよう私達自身も学び、国政に声を届けるよう取り組んで参ります。

すこやか福祉会では、今年は新規事業が目白押しです。2月には墨田区に都市型経費老人ホーム、複合型サービス、江戸川区に小規模多機能サービス、4月には八潮に保育園が新規開設します。

新しい事業展開を通し事業の充実と発展と現事業の内容の充実を職員と力をあわせ努力し、積み重ねていく必要があります。一層の努力と連携をもち、一つのチームとしてご利用者が地域の中で生き生きと生活できるサービスが提供できる事業所を目指し、取り組んでいきたいと思ひます。

今年もどうぞご指導とご協力のほど、宜しくお願い致します。



社会福祉法人すこやか福祉会

理事長 中山 美千代

支援する会より 軽自動車が寄贈されました

2012年9月納車 新宿在宅サービスセンターに



今年度の寄附はカタチとして残るものに

今年5月に開催した「支援する会」の定期総会で確認した活動方針に沿って、今年度は法人への寄附をカタチとして残るものに変更することになりました。どのようなものが良いのか検討した結果、デイサービスなどの事業所では小回りが可能な送迎車両が必要という意見が多いので、今年度は軽自動車を2台寄贈する予定で150万円の寄附金募集に取り組み、9月27日に新宿在宅サービスセンターに軽自動車（スズキアルト）を寄贈することができました。引き続き今年度末には2台目の軽自動車を寄贈する予定で準備を進めています。

「支援する会」のロゴマークを作成しました



すこやかの「S」と福祉の「F」をデフォルメしてロゴ

マークにしました。また、「支える」というイメージもこのマークから読み取っていただければと思っています。今回、新宿在宅サービスセンターに贈呈した軽自動車にも寄贈年月とともにリア（後）ドアに、このロゴマークを貼り付けました。

すこやか福祉会を支援する会への入会方法

支援する会に入会ご希望の方は、下記までご連絡願います。
申込書及び郵便振替用紙を送らせていただきます。

また、ご質問などございましたらご連絡ください。

連絡先 Tel 03(5648)8250 やすらぎの郷
Tel 070(5558)8327 町田



10月21日（日）東金町小学校体育館と金町学童保育園クラブに於いて、こばとの森保育園と金町学童クラブ共催で『学童まつり&こばとの森バザー』が開催されました。



バザー当日は開催前から入り口の前にお客さんが並び盛況ぶりでした。開始とともに洗剤や食器、贈答品はともによく売れ、接客するのかもしれないでした。



子ども用の玩具も大人気で新品の玩具もたくさんあり子どもと一緒にいたお母さんやお父さんに『いい??』とおねだりし、買ってもらおうとニコッ!!と、とてもうれしそうな顔をして笑う子どもの姿が見られました。

学童児童や職員が中心となって遊びのコーナーを担当しました。遊びコーナーにも子どもの列が出来ており、どのコーナーからも笑い声が聞こえてきました。工作コーナーで作った新聞紙バッグが大流行で、あちこちにバッグを持った女の子達がウロウロ（ショッピングをするお姉さんのようでした（笑））。

11時から始まるステージの頃には、体育館全体にたくさんの人がステージの始まりを待っていました。子ども達もちょっと緊張の面持ちで出番を待っていましたが、いざ舞台上行くと！練習の時と同じように・・・いえ、それ以上にすてきな笑顔で出し物を行っていました☆

金町学童前では保育園のお父さんが中心となって作ったやきそばが大人気！汗をかきかき大奮闘していました。その他、わたあめ・フランクフルト・カキ氷など行列ができるほどの売れ行きでした。



たくさんの方々のご協力により大成功に終わることができた楽しい一日でした。ありがとうございました。





所長のココロ 14

グループホーム業平 藤本 美保



新人奮闘記

認知症デイよりみち 山田麻生

今回は、認知症デイよりみち、新人職員の山田麻生さんにお話を聞いてみました。

Q、入職して8ヶ月ほど経ちましたが、ここ最近苦労していることは何ですか？

A、気持ちの切り替えです。上手く仕事に集中できなかったり、休みの日も仕事の事を考えてしまったり、ちょっと辛いですよ。

Q、仕事での楽しみは何ですか？

A、利用者さん、ご家族、あと職員と笑顔で話す事です。

Q、仕事をする上で大切にしている事など、何かありますか？



A、今現在は、フロとしての意識ですかね。自分の中でちょっとしたミスが多すぎると感じているので…。

Q、最後に今後の目標などありましたら、お願いします。

A、とにかく気分の切り替え方法をいろいろ試したいです。あと利用者さんだけではなく

ご家族や職員、他職種の人達と積極的に接して様々な考えや見方を学んで、日々のケアに活かせるようにしていきたいです。



インタビューー 増子大道

いつも壁にはステキな作品でいっぱい

はじめまして。平成22年12月よりグループホームすこやかの家 業平にてホーム長を務めさせて頂いております藤本美保と申します。

場所は、大林組プレゼンツ・東京スカイツリーのすぐそばです。東京スカイツリーといえば634m、世界一高いタワーです。建築に携わった方々はいくつものハードルを乗り越え頭をひねって頭をひねって作りあげたようです。グループホーム業平の立ち上げはこの世界一のタワーの建築現場を横目にしつつの物でした。ですから私自身も勝手に大林組の一員のような気持ちでいます。

開設準備に入ってから、正直苦しい場面も多々あり、いつもいつも思っていた事があります。

「あの人達（大林組）も闘っているのだから、せめて、スカイツリーの開業まではくじけずに頑張らなくては・・・」開業の日には「お互い頑張ってきたよね」と感無量でした。

私達の仕事は、結果が一目では表せませんので、世界一のタワーとは比べる事はできませんが、自分の気持ちの持ち方ひとつでいい家（タワー）を創り積み上げていく事はできるはず！と自分を励ましつつ支援にあたっています。今まで支えてくれたあの人達も、これからも支えてくれる皆さんも、私の中では大林組の一員です。

頭を柔らかくして、自然体で少しずつでも業平の歴史を積み上げていきたいと思っています。

今後どうぞよろしくお願い致します。

福祉系2013年4月新卒 第1回 内定者の集い



12月15日に来年4月入職予定の学生のための「内定者の集い」を開催いたしました。

内定者14名のうち12名が参加、先輩職員は13名の参加でした。

内定者の皆さんも始めは緊張した面持ちでしたが『お見合い式自己紹介』と、定番となった『絵しりとり』でだいぶ打ち解けた様子でした。中でもしりとりなのに「キリン」の絵を炸裂させ、会場を爆笑の渦に巻き込んだA先輩、本当にありがとうございます（笑）



お昼は恒例企画である鍋ストラックアウトを開催、豪華食材が目白押しですので先輩職員チームも一緒になってはしゃいでおりました。絶妙なMC、先輩職員のおいしいリードもあって(?)どの班も甲乙つけがたいステキな鍋が完成しました。



最後に先輩職員を交えて歓談タイムの後、記念撮影。内定者の笑顔が印象的でした。

卒業まで残りあとわずか。悔いのないよう学生生活を、楽しんでくださいね！

本部事務局 中村 仁一

第1回 アトリエ大賞 授賞式

第2回アトリエ大賞
開催決定！！

最優秀賞

ファミリーケア水元公園

今回受賞されたご利用者様は既に亡くなられておりましたが、ご家族が受け取って下さり、「本人も喜んでいると思います。お仏壇に飾ります」とおっしゃっていただきました。

所長 小澤 康敏



前号で第1回アトリエ大賞を、まことに勝手ながら広報委員会で選ばせて頂きました。

受賞者の方には、委員より表彰状を送らせていただき、記念撮影をしてきました。

アトリエ大賞が、今後の皆様が作品を作る上でのモチベーションになることを願い、第2回アトリエ大賞を開催することに致しました。

詳細は次回号でお知らせします！第2回はもっと皆様がわくわくするような企画にしたいと考えております。是非、作品をじっくり温めておいて下さいね！



佳作

金町学童クラブ

ハロウィンの装いでデイサービスセンターかなまちに遊びに来てくれた子供達にお菓子をプレゼントしました。

佳作

グループホームすこやかの家業平



職員手作りのお菓子入れ



編集後記

前回号より「住みなれたまちで」の本誌のレイアウト等を担当しております。

この仕事を機に街頭広告や雑誌のレイアウト等に目が行くようになりました。より良いものが出来るよう勉強していきますので、暖かく見守って頂けたらと思います。